



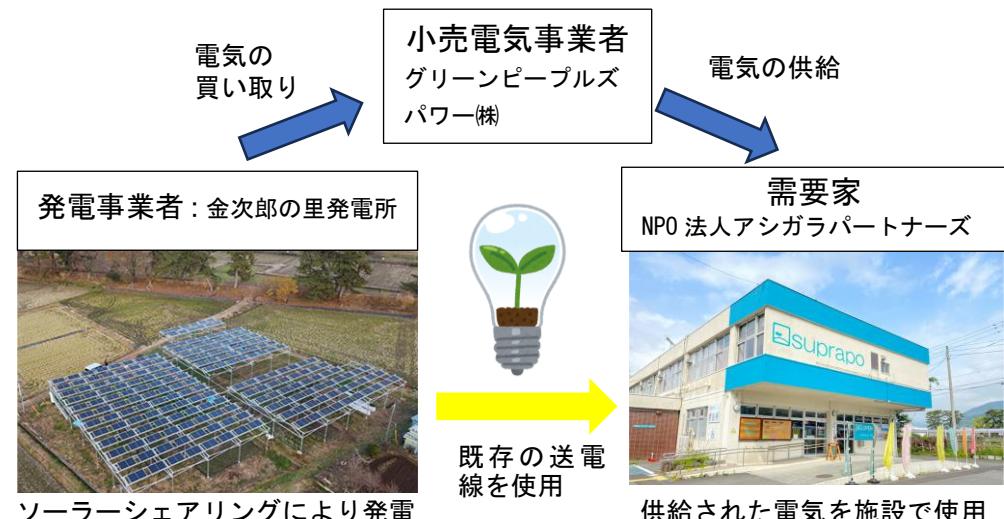
【コラム】創生推進拠点施設 suprapo（スプラポ）において、小田原市にある 営農型太陽光発電による再エネ 100%電気を使用しています

- 女性が輝き活躍するまちづくりを推進するための拠点として令和元年に整備を行い、指定管理者（NPO 法人アシガラパートナーズ）により運営している松田町創生推進拠点施設「suprapo（スプラポ）」では、令和3（2021）年から、小田原市内の営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）で作られた再エネ電気を使用しています。
- この電気は固定価格買取制度（FIT）によらず、「再生可能エネルギー」という環境価値を有しているため二酸化炭素削減効果があります。これにより、R4年度は 14.4 t、R5年度は 16.7 t の二酸化炭素が削減されています。

-	PPA 電力 合計(kWh)	CO2 削減量 (t-CO2/kWh)
R4 (2022)	22,822	14.4
R5 (2023)	38,221	16.7

東京電力 CO2 排出係数（調整後）(kg-CO2/kWh)
R4: 0.376、R5 : 0.408

電力 契約先	グリーンピープルズパワー(株) ：発電所から電気を買い取る小売電気事業者
発電所	小田原かなごてファーム金次郎の里発電所 (合同会社小田原かなごてファーム)
形式	オフサイト PPA



※PPA：太陽光発電設備の設置方法の一つ。PPA 事業者が個人などの所有する土地に無償で太陽光発電設備を設置し、そこで発電した電気を個人などが買い取って使用する取り組み。

※オフサイト PPA：電力を使用する拠点から遠い場所にある発電設備が発電した電力を、送配電ネットワークを通じて需要家に供給する形式。